

令和8年度版

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは

企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。ポリテクセンター秋田では、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。



らしく、はたらく、ともに



独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田支部

秋田職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター秋田)
〒010-0101
秋田県潟上市天王字上北野4-143

【お問い合わせ先】生産性センター業務課

電話018-873-8036

E-mail:akita-seisan@jeed.go.jp

生産性向上支援訓練の内容

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用などあらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、企業が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得する職業訓練で、オープンコースとオーダーコースを専門的知見を有する民間教育機関等に委託して実施しています。

- オープンコース: 広く受講者を募集する公開型のコース(年間40コース程度計画)
- オーダーコース: 個別企業・事業主団体の課題に対応したカリキュラムをカスタマイズして実施するコース



生産性向上支援訓練には訓練分野ごとにカリキュラムモデルがあります。研修計画の作成にお役立てください。ポリテクセンター秋田ホームページからご覧いただくことが可能です。



◇DX人材の育成にもご活用ください！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX(デジタルトランスフォーメーション)が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。生産性向上支援訓練ではカリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。

↑ オープンコース受講の流れ

◇訓練実施場所

次の各地域で開催予定
【県央地域：潟上市、秋田市】
(ポリテクセンター秋田ほか)
【県北地域：大館市】
(ポリテクカレッジ秋田)
【県央沿岸地域：由利本荘市】
【県南地域：横手市】

◇訓練日数(時間数)

1日(6時間)を基本に設定
※IT業務改善分野は2日間
(12時間)コースも設定

◇実施定員

定員15名を基本に設定
※IT業務改善分野は10~12名
で設定

◇受講料(1人当たり・税込)

IT業務改善:6時間コース 2,200円 12時間コース 3,300円
IT業務改善以外:6時間コース 3,300円

受講コースの決定

ホームページ、募集リーフレットから受講希望コース
をお選びください。

受講申込

受講申込書にご記入の上、FAXまたはメールでお申
し込みください。

訓練受講

所定の期日までに受講料の納付等の手続を済ませて、
訓練を受講してください。

他社の従業員と一緒に受講したことで、「自社の強みや課題の気づきにつながった」等のご意見をいただいております。
実施日程はポリテクセンター秋田のホームページまたは募集リーフレットをご確認ください。



↑ オーダーコース受講の流れ

◇訓練実施場所

受講を希望する個別企業、事業
主団体等でご準備ください。

◇訓練日数(時間数)

いずれの訓練分野も1~3日
(6~18時間)の範囲で設定
が可能です。

◇実施定員

いずれの訓練分野も受講者
10名以上からご利用いただけ
ます。

◇受講料(1人当たり・税込)

IT業務改善:6時間コース 2,200円 12時間コース 3,300円 18時間コース 4,400円
IT業務改善以外:6時間コース 3,300円 12時間コース 5,500円 18時間コース 6,600円

課題や方策の整理

センター担当者が貴社を訪問し、人材育成に関する課
題や方策についてお伺いします。

訓練コースの コーディネート

相談内容を踏まえて、企業等の課題やニーズに応じた
訓練コースをご提案します。

訓練受講

利用申込書を提出後、所定の期日までに受講料の納付
等の手続を済ませて、訓練を受講していただきます。

ポリテクセンターでは「利用申込書」に基づき、希望された訓練コースや日程で担当可能な講師(訓練実施機関)の選定を進めます。
担当講師、オーダー企業等、ポリテクセンターの三者で訓練カリキュラムの調整や事務手続きのスケジュールを確認するための打合せを実施します。



eラーニングで受講できる生産性向上支援訓練 ご存じですか? サブスクリプション型生産性向上支援訓練

企業が従業員に対して実施する研修・教育訓練については、従業員のすき間時間に訓練を受講させたい、オンラインで効率的に訓練を実施したい、といったニーズが寄せられています。

eラーニング形式により複数の訓練を定額で受講できる「サブスクリプション型生産性向上支援訓練」(通称:サブスク型訓練)を実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。

DX人材の育成を支援する DX対応コース

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、DXの推進に資する人材育成を支援する訓練コースをDX対応コースとして設定しています。DX対応コースでは、生産性向上支援訓練の訓練分野や訓練目的とは別に、DX推進に向けたスタートコース、企業のデジタル化を下支えするネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、共通領域として設定しました。また、DXに向けた3つの課題を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。※訓練コース名に付した3桁の数字はカリキュラムモデルの番号に対応しています。

共通領域

DX推進に向けたスタートコース(4コース)

☆DXの推進による企業変革の有用性を理解し、DX推進のポイントを習得したい

- | | |
|----------------|------------------|
| 119 DXの推進 | 117 DXの導入 |
| 126 DX人材育成の進め方 | 129 製造分野におけるDX推進 |

ネットワーク・セキュリティに関するコース(8コース)

☆ネットワーク活用、データ活用、情報発信の方法を習得したい
☆倫理・セキュリティについて理解したい

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 021 I o T導入に係る情報セキュリティ | 099 社内ネットワークに役立つ管理手法 |
| 040 eビジネスにおけるリーガルリスク | 115 脅威情報とセキュリティ対策 |
| 057 ネット炎上時のトラブル対応 | 116 情報漏えいの原因と対応・対策 |
| 098 ワイヤレス環境に必要となる無線LANセキュリティ | 125 テレワークに対応したセキュリティ対策 |



デジタル化と新しい生活様式の課題対応(23コース)

※赤字は新規追加コース

☆自社業務に適切なITツールを選定したい ☆POSシステムを活用して売り上げを伸ばしたい
☆RPAを活用して業務の効率化を図りたい ☆データ集計・分析を効率的に行いたい など

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 009 POSシステムの活用技術 | 122 テレワーク業務における労務管理 |
| 056 ITツールを活用した業務改善 | 123 オンライン営業技術 |
| 091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解 | 100 表計算ソフトを活用した業務改善 |
| 092 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント | 101 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用 |
| 095 ビッグデータ活用 | 103 効率よく分析するためのデータ集計 |
| 055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減 | 104 ピボットテーブルを活用したデータ分析 |
| 096 RPA活用 | 105 品質管理に役立つグラフ活用 |
| 083 テレワークを活用した業務効率化 | 106 表計算ソフトを活用した統計データ解析 |
| 088 テレワーク活用 | 111 業務効率を向上させるワープロソフト活用 |
| 120 データサイエンス入門 | 112 相手に伝わるプレゼン資料作成 |
| 130 経理業務の効率化につながるDXの実践 | 114 SNSを活用した情報発信 |
| | 124 オンラインプレゼンテーション技術 |

業務プロセスの課題への対応(25コース)

※赤字は新規追加コース

☆システム化に伴うコストの考え方を知りたい ☆クラウドを活用した業務展開、システム導入を検討したい
☆物流全体の最適化・効率化を実現したい ☆データベースを活用してデータ処理を効率化したい など

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 007 在庫管理システムの導入 | 087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用 |
| 016 物流のIT化 | 027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善 |
| 013 流通システム設計 | 028 統計データ解析とコンセプトメイキング |
| 014 物流システム設計 | 046 インターネットマーケティングの活用 |
| 012 卸売業・サービス業の販売戦略 | 036 プロモーションとチャンネル戦略 |
| 018 クラウド活用入門 | 047 チャンスをつかむインターネットビジネス |
| 020 クラウドを活用したシステム導入 | 029 顧客分析手法 |
| 054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充 | 045 顧客満足度向上のためのCS調査とデータ分析 |
| 093 IT新技術による業務改善 | 107 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 |
| 094 AI(人工知能)活用 | 108 データベースを活用したデータ処理(基本編) |
| 132 生成AIの活用 | 109 データベースを活用したデータ処理(応用編) |
| 133 Pythonを活用した事務業務の効率化 | 110 データベースを活用した高度なデータ処理 |
| 090 失敗しない社内システム導入 | |

ビジネスモデルの課題への対応(7コース)

☆IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ☆システム開発に必要な発注者の役割を理解したい など

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------------------|
| 015 3PLとSCM | 017 SCMの現状と将来展望 | 118 バンダーマネジメント力の向上 |
| 019 IoT活用によるビジネス展開 | | 022 IoTを活用したビジネスモデル |
| 089 データ活用で進める業務連携 | | 121 ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合 |

3つの課題